

「子どもの指のけが」

日本の小・中学校ではポ - トボ - ルやドッジボ - ルなどの球技が盛んです。そのため、突き指などの子どもの指の外傷が増えています。保護者や指導者はたかが突き指ぐらいと、子どもの指の外傷を軽く考えることが多いのではないのでしょうか。また、骨折なら指を動かせないと信じている方が多いようです。

しかし、指を動かしても、骨折していたり、骨折していなくても靭(じん)帯や腱(けん)が切れていたり、関節の軟骨が傷ついていたりする重大な外傷がしばしば見られます。関節を動かすと痛いから動かさないで様子を見ることになりがちですが、骨折がゆがんでついたり、関節のぐらつきが残ったりするという後遺症に悩まされることがあります。関節の外傷は外から見ただけではわかりません。

できるだけ早く専門医で検査と適切な治療を受けることが大切です。

平成20年6月

田村 友彦